

答え合わせ・解説

問1	答え 4 初心	「初心忘るべからず」の「初心」の部分が入ります。意味は「物事を始めた時の謙虚で真剣な気持ちを忘れてはならない」です。
問2	答え 2 悪い行いや噂は、あっという間に世間に広まってしまう	「悪事千里を走る」は「悪い行いや噂は、あっという間に世間に広まってしまう」という意味です。
問3	答え 4 論語知らず	「論語読みの論語知らず」の続きは「論語知らず」です。意味は「知識ばかりあって、実際にはその意味を理解していないこと」です。
問4	答え 3 縄を綯う	「泥棒を見て縄を綯う」の続きは「縄を綯う」です。意味は「事が起きてから慌てて準備をすること」です。
問5	答え 1 居ぬ	「鬼の居ぬ間に洗濯」の「居ぬ」の部分が入ります。意味は「怖い人がいない間に、のびのびとくつろぐこと」です。
問6	答え 1 思いがけない幸運が舞い込んでくること	「棚から牡丹餅」は「思いがけない幸運が舞い込んでくること」という意味です。
問7	答え 4 少しだけ他より優れていること	「一日の長」は「少しだけ他より優れていること」という意味です。
問8	答え 3 勝てぬ	「泣く子と地頭には勝てぬ」の続きは「勝てぬ」です。意味は「道理の通じない相手や権力者には、何を言っても無駄なので従うしかないということ」です。
問9	答え 4 もともと強い者が、さらに強い武器を持って無敵になること	「鬼に金棒」は「もともと強い者が、さらに強い武器を持って無敵になること」という意味です。
問10	答え 3 その土地や集団の習慣やルールには、自分を合わせていくべきだ	「郷に入っては郷に従え」は「その土地や集団の習慣やルールには、自分を合わせていくべきだ」という意味です。
問11	答え 2 勢力のある大きな相手には、逆らわずに従ったほうが得策だということ	「長いものには巻かれる」は「勢力のある大きな相手には、逆らわずに従ったほうが得策だということ」という意味です。
問12	答え 2 小僧	「門前の小僧習わぬ経を読む」の「小僧」の部分が入ります。意味は「いつも見聞きしていると、自然と知識が身につくということ」です。
問13	答え 4 衣装	「馬子にも衣装」の続きは「衣装」です。意味は「どんな人でも身なりを整えれば立派に見えるということ」です。
問14	答え 1 魚	「水清ければ魚棲まず」の「魚」の部分が入ります。意味は「あまりに清廉潔白すぎると、かえって人から敬遠されて仲間が集まらない」です。
問15	答え 4 藍	「青は藍より出でて藍より青し」の「藍」の部分が入ります。意味は「弟子が師匠よりも優れていること」です。
問16	答え 4 月	「月とすっぽん」の「月」の部分が入ります。意味は「形は似ているが、質や価値が比べものにならないほど違う」です。
問17	答え 3 祭り	「後の祭り」の「祭り」の部分が入ります。意味は「時期を逃してしまい、手遅れであること」です。
問18	答え 3 餅	「餅は餅屋」の「餅」の部分が入ります。意味は「何事もその道の専門家に任せるのが一番良いということ」です。
問19	答え 4 鳥	「立つ鳥跡を濁さず」の「鳥」の部分が入ります。意味は「立ち去る時は、後始末をきちんとしておくべきだ」です。